

一心寺のジャカランダと和気清麻呂の河内川開削跡地



奈良盆地のすべての水系を集合し、亀の瀬の峡谷を抜けて大阪平野に出た大和川は、1704年の付替え以前は河内平野を北や北西に分流していました。現在の、玉串川・久宝寺川（長瀬川）・平野川（河内川）などがその名残です。これらの分流は、河内平野を湿潤化し洪水の被害をもたらしていました。平安時代の初期、平野川（河内川）を上町台地の南部で西に切り通す排水事業が和気清麻呂によって試みられました。事業は成功しなかったものの、掘り進められた開削跡地形を今も市街化した天王寺周辺で確認できます。また、上町台地上に作られた四天王寺の西門は、大阪湾に沈む夕陽を見入り、西方浄土を思念する日想観（下図参照）という勤行の聖地とされてきました。鎌倉時代の家人藤原家隆も近くに庵を結び、江戸時代には、芭蕉や蕪村が大阪湾の景観を楽しむ料亭で俳諧の集いを持ちました。こうした上町台地の自然と歴史・文化にゆかりの地を歩き、途中に、南国の花木ジャカランダの開花を一心寺の境内で楽しみます。天王寺七坂の内、5つの坂を訪ねます。Aグループ 福嶋昭治

1：日 時 2024年6月20日(木)

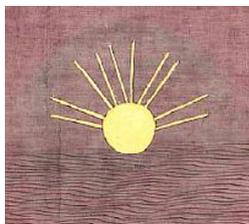
2：集 合 10：30 大阪メトロ谷町線天王寺駅南改札口

(他線で来られる方は、あべちか15番16番出口という表示をたどって来てください。地上の15番16番出口に上がる階段が集合場所の南改札口にありす)

3：行 程 10:30集合場所 10:40竹本義太夫誕生地碑 10:50谷の清水・清水井戸地蔵 11:00超願寺・竹本義太夫墓 11:05四天王寺11:25 11:35堀越神社 11:40茶白山・河底池 12:00茶白山下(昼食)12:35 12:45一心寺13:00 13:05安居神社 13:15清水寺 13:30大阪星光学園(料亭「浮瀬(うかんせ)跡地、芭蕉・蕪村ゆかりの「蕉蕪園」)14:00 14:10家隆塚、天王寺七坂説明板 14:30口縄坂(織田作之助「木の都から」の舞台、夕陽丘女学校(現大阪府立夕陽丘高校)跡地) 15:00大阪メトロ谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」解散

4：持ち物 弁当・飲み物・敷物

5：歩行距離 約5km。全行程なだらかな起伏で一部に階段があります。5つの坂は一部分ずつ歩きます。



↑
宇治平等院鳳凰堂本尊阿弥陀如来背面扉絵復元模写
(左右扉の一部ずつ)

日想観

←沈む夕陽

↑
日想観にひたる人物→

